

# 平成30年度事業報告書

(事業活動の状況の概要及びこれに関する数値のうち重要なものを記載した書類)

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム

## 目次

1	事業業績の概要	p. 2
2	自己点検・評価結果	p. 4
	(1) 公益目的事業の評価	p. 4
	(2) 収益事業の評価	p. 6
	(3) 法人の管理運営	p. 7
3	公益目的事業の業績	p. 8
	(1) 教育学習事業：多彩な学びの場を市民に提供する事業	p. 8
	(2) 人材育成事業：まちづくりの担い手を育成する事業	p. 16
	(3) 地域発展事業：生活・文化・福祉・産業の発展に寄与する事業	p. 24
4	収益事業	p. 31
5	管理運営	p. 32

---

## 1 事業業績の概要

---

本法人は、平成28年度から30年度までの3か年を「発展期」と位置付け、「管理運営体制の充実」と「公益目的事業の充実」の基本方針の下、目標達成に向けて全力で事業に取り組んだ。その結果、3つの公益目的事業はほぼ目標を達成できた。また、相模原市立市民・大学交流センター（以下センター）の指定管理業務についても、おおむね目標を達成することができた。

教育学習事業では、「さがまちカレッジ」において、加盟機関の専門性を活かしながら、市民が快適で充実した生活を送るための講座を52講座開講した。1,473人が受講し、理解度は90%超であった。「相模原市・座間市 市民大学」では社会が抱える諸課題と市民の学習ニーズに基づく講座を26講座開講した。相模原市・座間市市民を中心に1,035人が受講し、理解度は82%に達した。センターで開催した「オーサーズカフェ」では平均39人、総数957人の市民がさまざまなジャンルのトピックを聴講した。総じて教育学習系の事業は高い理解度・満足度を収めている。

人材育成事業では、「キャリア支援4STEP PROGRAM」において、より時代のニーズに沿ったキャリア支援プロジェクトとして、学生生活終盤に至り未だ就職が決まっていない大学生を対象に、キャリアセミナーを展開し、就活に必要な「自己分析」「企業研究」「面接対策」「企業交流」を集中的に学ぶ講座を実施した。このプログラムの一環である「しごと探求セミナー」には加盟大学以外の学生を含む23人が参加した。また、近年力を入れている「さがまちインターンシップ」では、受入れ先が1団体増加し、11団体となり、学生30人が参加し、通年を含む長期就業体験を行った。まちづくりの担い手の育成を目的とした「さがまち学生Club」では、7大学、31人の学生が様々な企画の実施や報告会に取り組んだ。

地域発展事業では、「学生映像制作」において、7大学、15チームが参加し、映像制作の技術の向上とともに、地域に対する理解を深めることができた。いずれの作品も完成度が高いとの外部評価を受けている。「地域情報誌制作」は、昨年度から発行回数を年1回としたが、今年度は、ページ数を増やして掲載内容の拡大を図るとともに、企画・取材に十分に時間をかけることができ、より充実した内容となった。

会員については、正会員は34機関（専門学校1校と、NPO法人1団体が退会）、賛助会員は新たに株式会社丸井 町田マルイ・モディが入会し、計9機関、会員総数は43機関である。役員は任期満了（6月）に伴う改選により就任した理事は8人（新任1人、重任7人）、監事は2人（重任2人）。その後の役員は就退任は理事1人（退任1人）、監事2人（就任1人、退任1人）。役員は現員は理事7人、監事2人である。今年度は事業担当理事がセンターに関わる業務担当理事を兼務した。

管理運営面では、昨年度、公益目的事業の18の事業を見直し、3つの事業に統廃合し、機動性が向上したため、いずれの事業も積極的な実施と拡充を図ることができた。

センターについては、第2期（平成28年度～平成30年度）の指定管理者として管理業務に当たってきた。また、12月には、第3期（平成31年度～令和3年度）指定管理者としての指

定が決定した。センターの目的である市民と大学の橋渡しや、研究機会の提供などについては、新たな要員配置も含めた改善策に取り組んだ結果、いずれのプログラムも目標を達成することが出来た。さがみはら地域づくり大学の運営については、計画どおりに講座を開催し、地域づくりに取り組む人材を輩出することができた。職員については、センターの指定管理業務を行う要員を中心に、逐次補充、配置を行ってきた。

収支予算については、収入 101,667 千円（前年度比 101.9%）、支出 99,913 千円（前年度比 101.2%）を計上し、収支差額は 1,753 千円とした。

財政構造については、収入の 16.4%を受託事業費、4.2%を地方公共団体補助金が占めており、その割合は、昨年度と同数であった。また、収入の 70.7%は指定管理料収入及び施設等利用料収入が占め、会費収入の割合は 5.6%であった。引き続き会費収入及び、受託事業費収入の拡大を図ることで安定的な財源を確保し、健全な財政基盤の確立に努めていく。

## 2 自己点検・評価結果

公益目的事業について、事業計画において設定した目標値に対する達成状況や取組実績に対して自己点検と評価を行った。収益事業については、実績とその評価を付記し、法人の管理運営については、実績を付記した。

今回の評価結果は、平成30年度事業計画における目標値に対する評価であり、評価の低い事業については、今後、取り組み内容を再検討する。

### ◇評価基準

- S：目標を超えて達成されている
- A：目標が達成されている
- B：目標がおおむね達成されている
- C：目標の達成が不十分である
- D：目標がほとんど達成されていない

### (1) 公益目的事業の評価

#### ア 教育学習事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
さがまちカレッジ	講座数：40 講座(+5 講座) 申込者数：2,500 人(+200 人) 理解度・満足度：80%	講座数：52 講座 申込者数：2,901 人 理解度：91%、満足度：88%	S
相模原市・座間市 市民大学	講座数：27 講座 申込者数：1,800 人 理解度・満足度：80%	講座数：26 講座 申込者数：1,141 人 理解度：82%、満足度：82%	B
センター・オーサ ーズカフェ	講座数：24 講座 参加者数：960 人 満足度：80%	講座数：24 講座 参加者数：957 人 満足度：100%	A
センター・ユニコ ムセミナー	講座数：4 講座 申込者数：合計 120 人 理解度：80%	講座数：4 講座 申込者数：210 人 理解度：100%	S

#### イ 人材育成事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
キャリア支援 4 STEP PROGRAM	参加学生数：40 人（定員の80%） 理解度・満足度：学生、企業ともに80% 4 STEP：4 コース 職種探究セミナー：1回5団体50人	①キャリア支援「さがまち就活塾」 参加学生数：2 大学、4 人、定員の40%（定員10人） 参加企業数：3 社 満足度：100% 理解度：100% ②「しごと探究セミナー2018」 参加学生数：8 大学、23 人、定員の46%（定員50名） 満足度：100%、理解度：100%	C

子ども社会体験推進	子ども起業体験：1回 参加児童数：30人 満足度：80%	子ども起業体験：1回 参加児童数：58人 満足度：94% 「子ども起業体験（さがみはら子どもアントレ）」に実行委員会の一員として参画	A
さがまちインターンシップ	受入先：12件(+2件) 受入人数：28人(+8人, 定員の約80%) 参加率：定員の80% 理解度・満足度：80%	インターンシップ受入先：11件 受入人数：30人 参加率：定員の76% 理解度・満足度：100%	A
さがまち学生Club	参加学生数：30人 満足度：80%	参加学生数：7大学、31人(企画参加学生数延べ180人) 企画数：22企画 満足度：100%	S
センター・さがみはら地域づくり大学	講座数：14講座 申込者数：40人 理解度：80%	講座数：14講座 申込者数：コース申込者12人(他に、講座単位の申込者91人・延べ人数) 理解度：98%	B

#### ウ 地域発展事業

プログラム名	事業計画における目標値	取組実績	評価
学生映像制作	映像 参加チーム：16(+1) 作品数：16(+4) 満足度：80% CM 参加チーム：14(+1) 作品数：8(+1) クライアント：3件(±0)	①番組制作 参加チーム数：7大学、15チーム 作品数：15作品 満足度：100% ②CM・PR動画制作 参加チーム：10チーム 作品数：10 クライアント：3件	A
地域情報誌制作	参加学生数：30人 満足度：80% 年間発行回数：1回	参加学生数：7大学31人 満足度：100% 年間発行回数：1回 「さがまち24号」(3月)これまでの16頁から24頁に増ページのうえ16,000部を発行	A
地域情報発信	HPアクセス数：60,000件(対前年比20%増) 更新数：108件(対前年比20%増)	HPアクセス数：47,200件/年(対前年比5%減) 更新数：82件/年(対前年比25%減)	C
センター・市民・大学協働フェスタ	まちづくりフェスタ：1回 参加者数：1,700人 参加団体数：33団体 ユニコムサミット：1回	①まちづくりフェスタ：1回開催 参加者数：約2,000人 参加団体数：45団体 ②ユニコムサミット：1回開催 参加団体数：21団体 参加者数：31人	A
センター・市民・大学交流会	開催回数：6回 参加者数：120人	開催回数：6回 参加者数：87人	B

センター・市民と大学との橋渡し	①利用者交流会：12回 ②相談件数：50件 ③連携実績件数：25件(+5件)	①シェアードオフィス利用者への支援 利用者交流会：12回開催 ②センター利用者への支援 相談件数：132件 ③市民と大学との連携実績 26件	S
センター・情報誌発行	月1回発行(3,000部)	発行：12回/年間 発行部数：3,000部 A4版2ページ、カラー、相模原市内の217か所に配布	A
センター・団体登録	登録団体数：30団体(対前年比150%増)	登録団体数：30団体	A
センターホームページ運営(C)	HPアクセス数：300,000件(前年並)	アクセス数：305,886件	A

(2) 収益事業の評価

取組み	事業の主な内容	実績	評価
センターの施設等の管理運営事業(収益事業)	この事業は、一般市民などがセンターの施設等を利用するにあたり、相模原市条例に定める適正な料金のもとに次のサービスを提供し、利用者の便宜を図る。もって公益目的事業の推進への寄与を目指す。 ①シェアードオフィス運営支援(NPOや企業などが市民活動、地域貢献活動の拠点として利用するシェアードオフィス(共用貸事務所)の利用者有料支援) ②会議室等の貸し出し(セミナールーム、ミーティングルーム、AVスタジオ、実習室、情報コーナー、マルチスペースの有料貸し出し) ③備品等の貸し出し(機械、映像機材、各種ソフト、備品の有料貸し出し) ④物品販売(自動販売機による飲み物の販売) ⑤利用者サービス(コピーサービス(有料)、無線LAN(Wifi-Spot)(無料))	①シェアードオフィス利用者運営支援 利用者数：20団体・個人(平成31年3月31日現在) ① 会議室等の貸し出し 一般利用者数：191,722人 利用件数：10,605件 利用率：75.8% ③備品等の貸し出し ④物品販売 ごみ袋、テープ ⑤利用者サービス コピー機：2台設置(有料) 無線LAN設置(無料)	B

(3) 法人の管理運営

内容	計画	実績
役員等の体制の整備	1. 任期満了に伴う役員を選任 2. 役員体制の整備	1. 改選による理事7人と監事2人の選任(6月) 2. 補充の理事1人の選任(6月)と、監事の退任(9月)による補充の監事1人の選任(1月)
指定管理施設運営体制の整備	1. 円滑な施設管理運営 2. 管理事務室職員の採用	1. 相模原市との連絡調整会議(毎月1回開催) 2. 嘱託職員1人、臨時職員2人を採用
事務局体制の整備	1. 法人事務局職員の採用 2. 教育・研修の実施	1. 臨時職員1人 2. 全員に対する接遇研修及び防災訓練の実施(2回)
情報公開の促進	1. 法令の遵守 2. 透明性の確保 3. 会員等の利便性の向上	1. 法定事項を公表 2. 議事抄録等を公開 3. 全規程を公開

### 3 公益目的事業の業績

魅力あふれる地域社会の創造への寄与を目的とする、教育学習事業、人材育成事業、地域発展事業

#### (1) 教育学習事業

##### ア さがまちカレッジ

加盟機関の専門性を活かしながら、暮らしに役立つ知識や社会的な課題の解決に向けた身近な話題をテーマに講座を開講した。

実 績	
期 間	平成30年5月～平成31年3月（Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期、こども体験講座）
講 座 数	47プログラム、52講座
定 員 数 等	定員数：1,445人 申込者数：2,901人 受講者数：1,473人
内 容	「快適で充実した生活を送るための学び」をコンセプトに、暮らしに役立つ話題や生活を豊かにする情報、知的好奇心を満たす学術的知識、社会的な課題解決など様々な切り口で各大学等において講座を開講した。そのうち17プログラムは、町田市生涯学習センターとの協働の下、同センターならびに市内公共施設を会場として開講した。 学生が地域の魅力を発掘し、発信する企画から実施までを体験する「町田の魅力を再発見！ツーリズムプランコンテスト」を実施した。
自 己 評 価	講座数は計画の40講座を超える数を実施できた。申込者数は、全体の3/4以上の講座で定員数を越え、可能な限り受け入れ人数を増やし、多くの方に受講機会を提供することができた。地域の生涯学習の場として、地域市民に受け入れられつつあるように見受けられた。しかしながら、一部申込者が少なく、開催できない講座があった。 さがまちコンソーシアムの特色を活かした講座を目標数以上開催し、参加者の理解度や満足度も非常に高かったため「S」と評価する。
課題と改善策	・地域の生涯学習の場として、より多くの地域市民に受け入れられるようにするため、受講者のアウトカム評価や関心を分析し、講座の質、量を維持する。 ・申込者少数により開講できない講座があったため、講座の内容や対象に合った告知を行い、中止講座をなくす工夫をする。
会 議 等	さがまちカレッジプロジェクト会議 開催日：平成30年 4月18日 平成30年 7月19日 平成30年 10月4日 平成31年 2月5日
収 支	受講料収入に加え、会費収入及び町田市負担金の一部を充当
実施の様子	  

1) 開催講座実績

	講座名	開催日	提供団体	受講者数
1	螺鈿と研ぎ出し蒔絵に挑戦	5/10・17・24・31・6/14	東京造形大学	9人
2	合唱を通してみなさまと元気！笑顔！健康の輪！※	5/13・26・6/16・30	玉川大学	91人
3	多色つかいのオリジナルストールをつくりましたよ※	6/2	女子美術大学	12人
4	賢く使うクスリ ～病気やけがを防ぐために自分でできること～※	6/24	相模女子大学	24人
5	月を知ろう –セレーネ計画からウズメ計画へ–	6/30・7/7	相模女子大学	23人
6	犬の病気を知ってペットを長生きさせよう	7/21	麻布大学	27人
7	『ことわざ英語かるた』でLet's Enjoy English! ～ことわざと英語をゲームで楽しく学びましょう♪～	7/22	相模女子大学	15人
8	簡単なバッグを作ろう –編む・組む・描く・デコレーションなどで楽しいバッグを作る–※	7/27	相模女子大学	18人
9	ふしぎな超電導磁石で遊ぼう	7/30	青山学院大学	15人
10	花びらでTシャツを染めてみようーべに花で染めるー※	7/30	相模女子大学	34人
11	親子で楽しむ点字の基礎ー六つの点で広がる世界ー	8/1	相模女子大学	36人
12	親子いっしょにプログラミング Scratch コース	8/4	青山学院大学	94人
13	親子いっしょにプログラミング ピクトプログラミングコース	8/4	青山学院大学	38人
14	Kids English in SALESIO	8/4・5・6・7	サレジオ工業高等専門学校	18人
15	親子で DIY –アンティーク風多肉植物ディスプレイ棚作り–	8/4・5・6	サレジオ工業高等専門学校	10人
16	中学生のための初級薬学講座 ～薬の秘密を確かめよう～	8/5	相模原市薬剤師会	19人
17	楽しく環境を学ぼう in 鶴見川ー川で学ぶ身近な自然ー	8/8	和光大学	–
18	バイオや化学の力で身の回りの環境を調べてみよう	8/10	麻布大学	30人
19	親子で作るアイスクリーム教室	8/21	玉川大学	22人
20	型染めでテーブルセンターを染めよう	8/22	東京家政学院大学	17人
21	【学生講師プログラム】プラ板で自分だけのオリジナル・キーホルダーを作ろう	8/23	女子美術大学	38人

22	【学生講師プログラム】プラ板で自分だけのオリジナル・キーホルダーを作ろう	8/23	女子美術大学	36人
23	絵のなかのどうぶつたちが教えてくれる絵心一色やかたちの自由さと“どうぶつらしさ”ー	8/24	女子美術大学	40人
24	水族館の仕事ー北里大学海洋生命科学部 夏の体験講座ー	8/27	北里大学	30人
25	水族館の仕事ー北里大学海洋生命科学部 夏の体験講座ー	8/27	北里大学	28人
26	親子で作るうどん教室	8/28	東京家政学院大学	38人
27	楽しく歌って 笑顔！健康！元気！	9/9・30・ 10/13・27	玉川大学	127人
28	浮世絵で読む永井荷風ー『すみだ川』と歌川広重・小林清親ー	9/26	相模女子大学	52人
29	大人のための絵本講座ー絵本の歴史と文化を探るー	10/1・15・22・ 29	相模女子大学	49人
30	子育てを通じた世代間交流～絵本が子育て・孫育てに役立つ！？～	10/19	和泉短期大学	13人
31	3Dプリンタを体験してみよう！	10/27	女子美術大学	13人
32	3Dプリンタを体験してみよう！	10/28	女子美術大学	14人
33	動物の頭の骨を観察してみよう！～サルとタヌキの骨くらべ※	11/11	麻布大学	9人
34	ハンドベルでクリスマスソングを奏でよう※	11/17・18	玉川大学	16人
35	愛されわんこを目指すには！親子でできるワンコミュニケーション	12/1	麻布大学	4人
36	クリスマス飾りを作ろう※	12/2	東京家政学院大学	21人
37	気を巡らせて“ぼかぼかな体”づくりを目指しましょう！※	12/6	相模女子大学	27人
38	気を巡らせて“ぼかぼかな体”づくりを目指しましょう！※	12/13	相模女子大学	17人
39	【特別講座】手作り豆絵本で英語を学ぼう！	12/22	相模女子大学	13人
40	【特別講座】手作り豆絵本で英語を学ぼう！	12/22	相模女子大学	12人
41	感じて描いてリラックス～クリニカルアート～※	1/19・27・2/2	町田市	24人
42	観光の仕事につながる学びを体験しよう！※	1/20	相模女子大学	7人

43	パーソナルミニドキュメンタリー映画をつくろう ～この街に片隅でつぶやかれる忘れがたい人生のエピソードを、いま共に聴く～※	1/26・27	東京造形大学	5人
44	日本画の材料と文化に親しむー小作品を作ってみましょう※	2/10・11	女子美術大学	14人
45	ミュージカルの心理劇Ⅲー宝塚歌劇編ー	2/26・3/5・12	相模女子大学	60人
46	美ってなんだろう？ー美学の世界へご招待ー※	3/2	女子美術大学	32人
47	健康でいきいきと働くために：ワーク・エンゲージメントに注目した生活のマネジメント	3/3	北里大学	ー
48	大人の食育Ⅱ～アンチエイジングのための料理教室～※	3/7・14	相模女子大学	24人
49	【特別講座】“健康情報”のウソとホント～ベテラン薬剤師が教えるセルフメディケーション～	3/10	相模原市薬剤師会	62人
50	人生 100 年時代を健康に過ごすために～生涯現役で生き抜く方法～	3/23	北里大学	58人
51	プラ板で自分だけのオリジナル・キーホルダーを作ろう※	3/25	女子美術大学	20人
52	エネルギーについてーつくる、ためる、つかうを体験するー※	3/29	サレジオ工業高等専門学校	18人

※町田市生涯学習センターとの連携講座

## 2) 「町田の魅力を再発見！ツーリズムプランコンテスト」の実施

内 容：学生が町田市の魅力を発掘し、発信する観光プログラムの企画から提案、実施までの一連の流れを体験するコンテスト形式のプログラム

日 程：オリエンテーション 平成 30 年 6 月 7 日（木）午後 6 時 30 分から午後 8 時

フィールドワーク 平成 30 年 6 月 17 日（日）午前 10 時から午後 3 時

平成 30 年 7 月 1 日（日）午前 9 時から午後 4 時

プレゼンテーション 平成 30 年 10 月 7 日（日）午後 1 時 30 分から午後 4 時

参加学生数：3 大学 5 チーム 27 人

## イ 市民大学（相模原市及び座間市教育委員会委託事業）

高等教育機関の機能を活用し、社会が抱える諸課題と市民の学習ニーズに基づく入門的・継続的な学習機会を提供した。

実 績	
期 間	平成 30 年 7 月～平成 31 年 1 月（前期、後期）
講 座 数	13 コース、26 講座
定 員 数 等	定員数：1,288 人 申込者数：1,144 人 受講者数：1,035 人
内 容	地域市民の多様な学習意欲に応えるため、近隣の高等教育機関の協力により、それぞれの教育機関の特色を生かした幅広い内容の講座を開講した。

自己評価	講座数はほぼ計画通りに開講できた。適時、適所の広報活動を行うことにより、微増ではあるが昨年度に比べ応募倍率を上回ることができた。受講者アンケートから受講者のアウトカム評価や関心を的確にとらえ、主催者に提供することができた。受講者の本市民大学に寄せる期待は大きく、また受講者ならびに主催者の満足度も良好だったが、申込者数が目標値に達しなかったため「B」と評価する。
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者ならびに主催者の満足度を維持するため、主催者、受講者双方の意見を参考にし、より円滑な運営を行う。</li> <li>・各校の特色を生かした良質の講座をより多くの地域市民に知らしめるために、本会 HP や広報物を活用し、受講者の拡大に努める。</li> </ul>
会議等	市民大学連絡会議 開催日：平成 29 年 5 月 21 日 平成 31 年 2 月 4 日
収支	市民大学委託事業費の全額を充当
実施の様子	

	講座名	開催日	開催校	受講者数
1	英語講座 英語ニュースを聞きとろう！5	前期	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	62 人
2	聴き上手になろう！	前期	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	32 人
3	動物の恵みをより良く活かす社会に向けて	前期	麻布大学	12 人
4	知って得する「食と健康の最新事情」	前期	麻布大学	32 人
5	楽しく健康・体力作り	前期	和泉短期大学	22 人
6	日本画 ～プリミティブな魅力を秘めた一枚の絵～	前期	女子美術大学	18 人
7	健康で豊かな人生のための基礎知識	前期	北里大学	83 人
8	暮らしに役立つ医療の知識	前期	北里大学	113 人
9	観光業の仕組み – 添乗員付きツアーの内容についてグループ旅行のプランニングをしてみよう –	前期	医療ビジネス観光情報専門学校	15 人
10	データを活用した予測・制御のサイエンス	前期	青山学院大学	102 人
11	多元的共生の思想と動態 – 平和の探求	前期	青山学院大学	63 人
12	高齢者が生活していく多様な場について考える	前期	東京家政学院大学	13 人
13	格差と貧困を考える	前期	法政大学	47 人

14	Active English in the News (中級)	前期	サレジオ工業高等専門学校	20人
15	「教養」としてのスポーツ講座	前期	和光大学	12人
16	オリ・パラボランティアに挑戦！？～ブラジル文化とポルトガル語を学ぼう～	後期	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	34人
17	最期まで口から食べることを目指して	後期	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	12人
18	近代日本のはやり歌を知る、歌う	後期	相模女子大学・相模女子大学短期大学部	19人
19	介護する人、される人に楽(らく)で優しい移動・移乗の支援技術ーキネステイク理論をつかった腰痛にならない介助の仕方ー	後期	和泉短期大学	17人
20	続 翼ある言葉なかりせば…ーイメージ、音楽、文学の西欧文化史	後期	女子美術大学	106人
21	大人のマナー講座ー日常マナーからテーブルマナー国際時代のマナーについて	後期	医療ビジネス観光情報専門学校	11人
22	情報社会を豊かに生きるー社会情報学の挑戦	後期	青山学院大学	80人
23	モチーフを巡る旅	後期	多摩美術大学	11人
24	Active English in the News (中級)	後期	サレジオ工業高等専門学校	18人
25	食にまつわる危険や問題点について考える	後期	行政(相模原市・座間市)	28人
26	小田急線沿線を知る・楽しむ・考える	後期	行政(相模原市・座間市)	53人

#### ウ オーサーズカフェ (指定管理事業)

さまざまなジャンルから話題性の高いトピックを取り上げてトーク形式で解説する参加自由なカフェ形式のセミナーを提供した。

実績	
期間	平成30年4月～平成31年3月(隔週土曜日14:00～15:00)
講座数	24講座
定員数等	定員数:定員数は特に設けていない 参加者数:957人、平均参加者数:39.8人
内容	健康、歴史、文学、芸術、自然科学、環境など、多彩なテーマについて第一線で活躍している大学教授や各界の専門家による講座を開講した。
自己評価	毎月2回のペースで開催、ユニコムプラザさがみはらの特徴的なにぎわいの空間として市民に認知されてきており、学びのきっかけづくり、市民と大学との接点の場となっている。受講者数も安定しており、常に20人を超えている。アンケート結果では、受講者の満足度が大変良好だった。先進事例としてメディアにも取り上げられたので「A」と評価する。

課題と改善策	地元企業についても引き続き地域連携の視点で登壇を検討する。		
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当		
実施の様子			

	講座名	開催日	参加者数
1	命と向きあう教室	4月14日	39人
2	動物福祉（アニマルウェルフェア）に配慮した畜産食品の生産と流通の課題と考え方	4月28日	30人
3	麻布大学いのちの博物館の楽しみ方	5月12日	29人
4	自然毒食中毒について	5月26日	43人
5	高座豚手造りハム創業の思いと日本の養豚振興	6月9日	54人
6	エンタテインメントが社会を変える！	6月23日	26人
7	ホースセラピーと「訪問かいこ」	7月14日	33人
8	作品観賞の魅力を語る	7月28日	30人
9	いまこそ聞きたい！星と宇宙のはなし	8月11日	40人
10	実はこんなにある“左利き用のグッズ” ご存知ですか？	8月25日	41人
11	「触覚」の不思議な世界 ～ユニバーサル・ミュージアムの実践～	9月8日	31人
12	染織コレクションについて 日本裂編	9月22日	25人
13	子育てに優しいまちづくりーオレンジリボンキャンペーンの紹介ー	10月13日	24人
14	絶滅生物に命を吹き込む ～アンモナイトってどんな生物？～	10月27日	39人
15	笑顔一良い声と若さと健康を手に入れるコツ	11月10日	61人
16	スポーツと地域貢献活動	11月24日	25人
17	ローカルメディアの意義と役割	12月8日	37人
18	名曲探偵が明かすベートーヴェン《第九》のヒミツ Season 4	12月22日	59人
19	地図×ウェブ＝新しい国際貢献のカタチ	1月12日	31人
20	人の心を動かす「色」「ことば」講座	1月26日	81人
21	共に遊び 共に生きる	2月9日	36人
22	デザインのはなし	2月23日	55人
23	丹沢あんぱん 開発秘話	3月9日	38人
24	桜のはなし	3月23日	50人

エ ユニコムセミナー（指定管理事業）

日常の暮らしに役立つ実践的な研究や、地域課題解決の糸口につながる専門的な話題をテーマとし、セミナーを提供した。

実 績	
期 間	平成 30 年 5 月～平成 31 年 2 月
講 座 数	地域課題解決の糸口につながる話題を テーマとした 4 講座
参 加 者 数	210 人
内 容	地域課題を踏まえた実践的な内容のセミナーを 4 回開講した。
自 己 評 価	日常の暮らしに役立つ実践的な研究成果や、地域の課題解決につながる専門的な話題をテーマに、市民に分かりやすい講座として提供しているが、今回の講座も「地域を盛り上げる講話に元気づけられた」など受講者の満足度も非常に良好であったので「S」と評価する。
課題と改善策	セミナー終了後、連携の有無と内容について追跡調査を行っているが、連携に繋がった例がないので、引き続きフォローしていく。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	

	講座名	開催日	参加者数
1	腸内フローラと健康	5 月 19 日（土）	74 人
2	あなたも被災する！備えるのは今	8 月 4 日（土）	56 人
3	自転車を安全・快適に使うには？	11 月 17 日（土）	32 人
4	くらしがグングン楽しくなる心理学	2 月 16 日（土）	48 人

(2) 人材育成事業

ア キャリア支援 4 STEP PROGRAM

就職活動を迎える学生を対象に、相模原市・町田市の魅力あるさまざまな企業と連携し、キャリア支援を目的とした体験型プログラム及びセミナーを実施した。

実績	
期 間	平成 30 年 9 月～12 月
開 催 場 所	相模女子大学、ユニコムプラザさがみはらなど
参 加 者 数	(キャリア支援 さがまち就活塾) 学生 4 人 (キャリア支援 しごと探求セミナー2018) 学生 23 人
内 容	平成 30 年度はより時代のニーズに沿ったキャリア支援プロジェクトとして、学生生活終盤に差し掛かる時期に未だ就職が決まっていない大学生を対象に、キャリアセミナーを展開。地元企業での就職活動のきっかけ作りを目的に、就活に必要な「自己分析」「企業研究」「面接対策」「企業交流」を集中的に学ぶ講座を実施した。 また昨年度に引き続き、キャリア支援講座として、「職種」という視点からこれから就職活動を迎える学生を対象としたパネルディスカッション方式のセミナー「しごと探求セミナー2018」を開催。地域で活躍する 5 名の若手社会人を招き、仕事の内容や日々の業務でのやりがい、苦労などを 2 時間程度のパネルディスカッション方式にて紹介した。
自 己 評 価	さがまち就活塾及びしごと探求セミナーともに参加者満足度が高く、協力企業からの評価も高い結果が得られたが、参加者数が目標値に達しなかったので「C」と評価する。
課題と改善策	・次年度もより多くの参加者獲得のため学生・大学・地域企業のニーズ検討を行い、より時代のニーズに合ったプログラムへ企画内容を再構築する。 ・集客の課題を解決するため、本会 HP や広報物を活用し、また加盟大学との連携を強化し、参加者の拡大に努める。
会 議 等	4 STEP PROGRAM プロジェクト会議 開催日：平成 30 年 5 月 22 日 平成 30 年 7 月 4 日 平成 30 年 9 月 11 日
収 支	会費収入の一部を充当
実施の様子	

1) キャリア支援 さがまち就活塾

実施日	1 日目 (自己分析ワーク・企業研究ワーク) : 10 月 19 日 13 : 00～16 : 00 2 日目 (模擬面接ワーク・地元企業交流会) : 10 月 26 日 13 : 00～16 : 00
実施場所	ユニコムプラザさがみはらマルチスペース 相模女子大学夢をかなえるセンター-Englishroom など

参加学生数	4人
参加大学	相模女子大学、明星大学
協力企業数	3社
協力企業	(株)サンライフ、(社副)紅梅会、(株)大神

## 2) キャリア支援 しごと探求セミナー2018

実施日	12月18日 17時～19時30分
実施場所	相模女子大学夢をかなえるセンター4Fホール
参加学生数	23人
参加大学	青山学院大学、相模女子大学、サレジオ工業高等専門学校、専修大学、法政大学、日本女子大学、東京薬科大学、横浜市立大学
協力企業数	パネリスト5団体
協力企業	(株)丸井、SPeak、アイワ広告(株)、町田福祉園、相模原市役所

## イ 子ども社会体験推進

地域の小学生が「会社設立、事業計画書の作成、資金調達、仕入、製造、販売、決算」という起業プロセスを疑似体験するプログラムに実行委員会の一員として参画した。

実績	
期間	平成30年4月～平成31年3月
内容	相模原地域の小学生が「会社設立、事業計画書の作成、資金調達、仕入、製造、販売、決算」という起業プロセスを疑似体験するプログラム「さがみはら子どもアントレ」に実行委員会の一員として昨年度に引き続き参画。平成30年度の事業内容や広報手段等の提言を行った。
自己評価	実行委員として年間を通じて参画し、50人超の子どもの社会体験推進に寄与したので「A」と評価する。
課題と改善策	次年度も実行委員として参画し、子供の社会体験に寄与していく。
会議等	さがみはら子どもアントレ実行委員会 開催日：平成30年5月24日 平成30年8月2日 平成30年11月2日
収支	会費収入の一部を充当

## ウ さがまちインターンシップ

学生のキャリア形成の支援として、地域産業への理解を深める、地域の特色ある企業や公共活動に取り組むNPO等の活動を知る事などを目的としてインターンシップに取り組んだ。

実績	
期間	平成30年6月～平成31年3月
受入先数	11件
参加者数	加盟大学の学生30人
参加大学	麻布大学、桜美林大学、北里大学、相模女子大学、玉川大学、多摩美術大学、山野美容芸術短期大学、和光大学
内容	地域の特色ある企業や公共活動に取り組むNPO等と大学を結ぶ「マッチングステージ」として各インターンシッププログラムを展開。プログラムの特徴は最短でも1か月、長期では9か月に及ぶ長期就業体験。
自己評価	前年度に比べ、実習受入れ数は10件から11件と増え、地域に根差した魅力的な実習先と学生との出会いの場を多く創出した。前年度より参加人数が減少したことは課題だが、参加した学生からの満足度はいずれも高かったので「A」と評価する。
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先の増加に伴い、実習先との連絡・調整、関連する事務作業等が増加した。平成31年度も同様の作業が見込まれるため、事務作業については効率化を図る。</li> <li>・例年の課題ではあるが、一部のインターンシップでは定員に満たない実習先があったため、本会HPや広報物を活用し、また加盟大学との連携を強化し、参加者の拡大に努める。</li> </ul>
収支	会費収入及び相模原市補助金の一部を充当
実施の様子	  

## 受入先別実施状況

	受入先	期間	参加者	内容
1	FMさがみ	平成30年6月～平成31年3月	5人	コミュニティーFM局「エフエムさがみ」の協力の下、学生独自のラジオ番組制作やアナウンス業務等を体験
2	さがみはら市民活動サポートセンター	平成30年6月	0人	センター主催イベントの企画・運営業務やセンターの広報、交流ワークショップの運営業務等を体験
3	SC相模原	平成30年6月～12月	4人	チラシ作りやホームゲーム当日の試合運営補助など、プロサッカーチームにおけるスポーツマネジメント業務を体験
4	ユニコムプラザさがみはら	平成30年7月～9月	3人	主催イベント「まちづくりフェスタ」の企画・運営サポートや、施設管理サポート等

5	町田新産業創造センター	平成30年7月～12月	1人	センター主催のビジネスイベントの企画・運営補助や、その他広報業務などを体験
6	J:COM	平成30年8月～9月	3人	テレビ収録のアシスタントディレクターとして、実際の収録現場を体験
7	相模大野図書館	平成30年8月	1人	貸出・レファレンス等の図書館司書業務の体験、及び図書館に対する企画のプレゼンテーションを実施
8	町田市生涯学習センター	平成30年8月	1人	センター主催の生涯学習系イベントの運営補助やその他広報業務の体験、及びセンターに対する企画プレゼンテーションを実施
9	町田市ひなた村	平成30年8月	1人	子どもを対象としたキャンプイベントや学習イベントの企画運営補助業務を体験
10	町田国際交流センター	平成30年9月～平成31年3月	5人	日本語教室やスポーツ大会等の異文化交流事業の運営補助業務を体験
11	町田市民ホール	平成30年9月～平成31年3月	6人	市民ホールで開催されるコンサートや落語、TV番組収録イベント等の運営補助業務を体験

#### エ さがまち学生Club

相模原・町田地域の活性化を目的とした学生によるまちづくりの取組み。主な内容は、地域活性化をテーマとした学生企画の実施、まちおこしイベントへの参画、ボランティア活動、情報取材活動・情報発信活動など多岐にわたる。

実績	
期間	平成30年6月～平成31年3月
取組企画数	22件
参加者数	加盟大学の学生31人（企画参加学生数延べ180人）
参加大学	青山学院大学、桜美林大学、相模女子大学、女子美術大学、玉川大学、法政大学、和光大学
内容	まちづくりへの関わりを通じて青年の社会適応力の育成を目的とする。クラブに所属する学生の自主性のもと、年間を通して、様々な相模原市、町田市の地域団体と連携し、22件のまちづくり企画を実施した。
自己評価	今年度も多種多様な幅広い分野で学生まちづくり活動を推進することができた。また平成30年度は独自の取組みにより、各種メディアにも取り上げられるなど、地域からの注目度は年々高まってきている。参加学生及び協働団体からの評価も高かったので「S」と評価する。
課題と改善策	活動の幅の拡大に伴い、関連する事務作業や関係先との調整等の作業が大幅に増加した。平成31年度も同程度以上の活動が見込まれるため、事務作業については効率化を図る。
収支	会費収入の一部を充当
実施の様子	



活動の実績

	内容	実施月	参加者	依頼元
1	町田市民大学 HATS 「人間関係学」 学生が講師として登壇 (7/11)	7月	(学生) 1人 (参加者) 20人	町田市生涯学習センター
2	相模原市「スイーツフェスティバル」 実行委員会への参画	7月～12月	(学生) 6人	相模原市商業観光課
3	「橋本七夕まつり」 ブース出店 (8/3, 4, 5)	7月～8月	(学生) 20人 (参加者) 約1,300人	相模原市緑区
4	藤の台団地納涼祭への参加 (8/26)	6月～8月	(学生) 6人 (参加者) 50人	町田市住宅課
5	相模原市「シティセールスサポーター」 への参画	8月～3月	(学生) 2人	相模原市シティセールス親善交流課
6	町田マルイ店とコラボワークショップを開催 (9/11)	9月	(学生) 18人 (参加者) 12人	町田マルイ店
7	子どもの居場所づくりセミナー事例報告 (9/28)	9月	(参加者) 30人	相模原市社会福祉協議会
8	町田福祉園みのり祭への参加 (10/21)	8月～10月	(学生) 8人 (参加者) 200人	町田福祉園
9	相模原市共生社会実現 PR 動画の制作	6月～10月	(学生) 4人	相模原市障害政策課
10	子供向け虐待防止啓発リーフレットの制作	6月～10月	(学生) 6人	町田市子ども家庭支援センター
11	フィールドワーク in さがみはら研究発表会開催 (11/18)	6月～11月	(学生) 20人 (参加者) 80人	相模原市企画政策課
12	相模原市内企業の PR 記事制作	8月～11月	(学生) 3人	さがみはら産業創造センター
13	県共生社会実現フォーラムにて事例発表・パネルディスカッション登壇 (12/8)	12月	(学生) 4人 (参加者) 250人	神奈川県共生社会推進課
14	FM さがみ特別出演 (12/16)	12月	(学生) 5人	相模原商工会議所
15	相模原市内の子ども食堂とのコラボレーション企画 (2/8)	11月～2月	(学生) 5人 (参加者) 30人	あいおいみんなの食堂
16	町田市お悩み解決 LABO 学生が事例発表 (2/21)	2月	(学生) 6人	町田市生涯学習センター
17	小山中学校「総合」の授業内での講義 (3/12)	11月～3月	(学生) 6人 (生徒) 250人	町田市立小山中学校

18	町田市「ガクマチ EXPO」への参画 (3/20)	10月～3月	(学生) 6人	町田市生涯学習センター
19	相模原市中央区魅力 PR 動画の制作	11月～3月	(学生) 6人	相模原市中央区役所
20	Club による SDG s 普及啓発企画の実施	11月～3月	(学生) 31人	神奈川県総合政策課
21	相模原市オリジナル出生届デザイン制作	12月～3月	(学生) 5人	相模原市区政支援課
22	町田市藤の台団地活性化プロジェクト「ふじずかん」への参画	通年	(学生) 12人	町田市住宅課

### オ さがみはら地域づくり大学 (指定管理事業)

協働の観点での地域活動及び市民活動を促進するために必要な知識や技術を体系的に学習する講座を開講した。

実績	
期 間	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
講 座 数	基礎コース 5 講座 (必修 3、選択 2)、応用コース 5 講座 (必修 3、選択 2)、 専門講座 5 講座、計 15 講座 ※上記の他に、開講記念学長講演 1 講座、公開プレ講座 2 講座、特別公開講座 1 講座
定 員 数 等	定員数：各コース・専門講座 20 人、学長講演・公開プレ講座・特別公開講座 各 100 人 参加者数：254 人 (延べ人数)
内 容	4 月に開講記念学長講演・受講者証交付式、5 月に公開プレ講座、6～1 月 (8～10 月は除く) に各コース、8～10 月に専門講座、2 月に修了式・受講者交流会、3 月に特別公開講座を開催。その他に、年 4 回コーディネーターズサークル交流会を開催。
自 己 評 価	講座開始までに申込者数がコース定員に達しなかったことから、講座単位での参加者の増員を図るために講座ごとの募集チラシを作成配布し、また、開催済みの講座の様子をセンター内でビデオ放映するなどして、参加者の獲得に努めた。予定の講座はすべて開講することができたが、各コースの申込者数が目標値の定員に達しなかったため「B」と評価する。
課題と改善策	事務局の負担が大きく、より魅力ある講座内容を検討すべきところが着手できていないので、事務作業を見直し、簡素化に努める。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	

#### 1) 内容及び受講者数

コース	講座名	開催月	受講者数
-----	-----	-----	------

基礎 コース	必修	協働とは何か～地方分権と協働～	6月	10人
	必修	相模原を知ろう、学ぼう	7月	13人
	必修	協働の考え方と様々な協働のかたち	11月	11人
	選択	組織運営の実際～思いを形にする～	12月	10人
	選択	私が描く相模原ビジョン	1月	10人
応用 コース	必修	まちづくり	6月	5人
	必修	地域づくりのためのファシリテーション	7月	10人
	必修	福祉～現状を知り、自分にできることを探す～	11月	8人
	選択	環境～地域の自然と私たちの生活から考える～	12月	6人
	選択	命を守る相模原の防災	1月	7人
専門講座		きらりと輝くPR～上手な広報のコツ～	8月	10人
		郷土の味「酒まんじゅう」を作ろう	8月	19人
		終活、はじめの一步～エンディングノート作成から見えること～	9月	14人
		俳句と地域づくり～さがみはらを詠む～	9・10月	13人
		誰でもできる子育て支援	10月	5人
合 計				151人

## 2) コーディネーターズサークル交流会

	開催日	講座名	参加者数
第1回	平成30年 5月23日(水)	修了者の近況報告、今後の交流会の運営方法について意見交換	7人
第2回	平成30年 8月29日(水)	共通の課題(仮想課題)でCPS手法を実践的に学習	8人
第3回	平成30年 11月10日(月)	運営委員会参加者がファシリテーターとなったディスカッション、今後の交流会についての意見交換	16人
第4回	平成31年 2月23日(土)	希望者による自らの活動内容等のプレゼンテーション、今後のスキルアップ等の意見交換	13人

## 3) コーディネーターズサークル交流会運営委員会

第3回交流会を実施するにあたって、修了者のニーズを反映できるように、メンバーから希望者を募り、事務局と合同で運営するために運営委員会を開催した。

	開催日	内容	参加者数
第1回	平成30年 8月8日(水)	現状の交流会に関する課題抽出と今後の交流会へ求めることの意見交換	3人
第2回	平成30年 9月15日(土)	交流会でのテーマ選定	5人
第3回	平成30年 10月22日(月)	交流会でのタイムスケジュールや役割分担の決定	5人

4) 開講記念学長講演および受講者証交付式の開催

【開講記念学長講演】

日 時：平成30年4月22日（日）午後6時から7時  
場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2  
講 師：さがみはら地域づくり大学学長 中邨 章氏（日本協働政策学会理事長、明治大学 名誉教授）  
テ ー マ：地域づくりと人口減少—さがみはらのこれから  
参加者数：40人

【受講者証交付式】

日 時：平成30年4月22日（日）午後7時15分から午後7時30分  
場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2  
参加者数：17人

5) 公開プレ講座の開催

【協働による地域づくり～NPO・市民活動・協働のあり方～】

日 時：平成30年5月23日（水）午後7時から8時  
場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2  
講 師：久住 剛氏（公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事・理事長）  
参加者数：14人

【地域づくりのためのファシリテーション】

日 時：平成30年5月26日（土）午後6時30分から午後7時30分  
場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2  
講 師：庄嶋 孝広氏（市民社会パートナーズ 代表）  
参加者数：19人

6) 修了式・受講者交流会の開催

【修了式】

日 時：平成31年2月2日（土）午後2時から2時30分  
場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2  
参加者数：6人

【受講者交流会】

日 時：平成31年2月2日（土）午後2時40分から3時50分  
場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2  
参加者数：8人

7) 特別公開講座の開催

日 時：平成31年3月10日（日）午後2時から4時10分  
場 所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2  
講 師：古橋 裕一氏（相陽建設株式会社 代表取締役、橋本商店街協同組合 理事長）  
牧瀬 稔氏（関東学院大学法学部地域創生学科 准教授）  
テ ー マ：市民のつながりを生む地域づくり～相模原市の“あるもの探し”～  
参加者数：30人

(3) 地域発展事業

ア 学生映像制作

映像制作を通して地域への理解を深め、また、取材、企画提案、番組構成案作成、撮影等の一連の作業を通じて、協調性や他者との関係作りに必要な能力と態度を育成する。

実 績	
1) 学生情報局「さがまちバンバン」 2) CM・PR 動画制作	
期間/開催日	平成 30 年 8 月～平成 31 年 3 月
作 品 数	1) 15 作品 2) 10 作品
参 加 団 体	1) 加盟大学の 15 学生団体 2) 加盟大学の 10 学生団体
内 容	1) 地域の学生が TV 番組制作を通して地域への理解を深めること、そして学生目線の地域映像情報に接した市民が地域の再認識することを目的とするプログラム。平成 30 年度は 7 大学 15 チームがエントリーし、それぞれ 15 作品を制作。制作された作品はさがまち HP 及び YouTube 等で配信した。また 3 月には優秀作品の選考、表彰を行う「さがまちバンバンアワード」を開催。番組制作に携わった学生チームが一堂に集まり、作品を振り返りながら、制作指導に当たったプロから講評を受けた。 2) 地域団体からのオファーを受け、地域の学生が CM・PR 動画を制作。平成 30 年度は 3 団体（神奈川県国民年金基金、相模原市障害政策課、相模原市中央区役所）からのオファーがあり、計 10 本の動画作品を制作。制作された作品は地域コミュニティチャンネルや電車内広告、公共バスのデジタルサイネージ、地域映画館での上映、各種インターネット等で放送されている。
自 己 評 価	TV 番組や CM・PR 動画制作を通して学生が地域への関心を深める一方、協調性や他者との関係作りに必要な能力を育成した。参加した学生、関係した教員、地元地域ともに好評であったので「A」と評価する。
課題と改善策	多くの学生が参加したが、参加する大学は例年固定化されつつある。幅広い学生参画を目指すためにも、広報・プロモーション方法などを再検討し、参加者の拡大に努める。
収 支	会費収入の一部を充当
実施の様子	  

1) ① 学生情報局「さがまちバンバン」作品一覧

	作品タイトル	放送月	制作団体
1	選択機	8 月後半	東京造形大学
2	YOUはどこから青学へ?	9 月後半	青山学院大学
3	SGMC	10 月前半	女子美術大学
4	赤ずきん 相模原土産消失事件簿	10 月後半	女子美術大学

5	ふわふわ	11月後半	桜美林大学
6	津久井と歌のつつみかた	12月前半	相模女子大学
7	タイムリミット	12月後半	和光大学
8	青学生古着コーデバトル!	1月前半	青山学院大学
9	心霊ガチ検証SP!	1月後半	玉川大学
10	玉川大学美男美女調査	2月前半	玉川大学
11	さがまち女子会	2月後半	東京造形大学
12	月華	3月前半	桜美林大学
13	サガジョインザデッド	3月後半	相模女子大学
14	GIVEN THINGS	4月前半	桜美林大学
15	密着! パラスポーツ	4月後半	桜美林大学

1) -② さがまちバンバンアワード2017 受賞作品

	賞タイトル	作品タイトル	制作団体
1	最優秀作品グランプリ	さがまち女子会	東京造形大学
2	バラエティ部門グランプリ	青学生古着コーデバトル!	青山学院大学
3	ドキュメンタリー部門グランプリ	GIVEN THINGS	桜美林大学
4	ドラマ部門グランプリ	タイムリミット	和光大学

2) CM・PR動画制作作品一覧

	クライアント名	作品タイトル	制作団体
1	神奈川県国民年金基金	料理篇	桜美林大学
2	神奈川県国民年金基金	チアリーディング篇	相模女子大学
3	神奈川県国民年金基金	魔法のスプレー篇	相模女子大学
4	神奈川県国民年金基金	脱サラ篇	玉川大学
5	神奈川県国民年金基金	ゲームスタート篇	東京造形大学
6	神奈川県国民年金基金	ゴリラ篇	東京造形大学
7	相模原市障害政策課	共生社会実現啓発動画 ～つながり～	さがまち学生Club
8	相模原市障害政策課	共生社会実現啓発動画 ～手を取り合って歩こう～	さがまち学生Club
9	相模原市障害政策課	共生社会実現啓発動画 ～こころの見える目を～	さがまち学生Club
10	相模原市中央区役所	相模原市中央区PR動画 ～ぼくら大好き中央区～	さがまち学生Club

## イ 地域情報誌制作

学生による地域情報誌制作を通して地域への理解を深め、また情報誌を手にした市民が地域のイベントや活動を知り、地域の魅力を再認識することを目的して実施した。

実績	
期 間	平成 30 年 6 月～平成 31 年 3 月
参 加 者 数	加盟校の学生 31 人
参 加 大 学	青山学院大学、桜美林大学、相模女子大学、女子美術大学、玉川大学、法政大学、和光大学
内 容	地域の学生が地域情報誌「さがまち」24 号を約半年をかけて制作。今号は、例年の 16 頁から 24 頁にページ数を増やして発行した。発行した情報誌は、相模原・町田市内の公共施設、銀行、病院、大型商業施設など約 500 箇所配布・配架した。
自 己 評 価	情報誌制作を通して学生社会適応能力の向上と情報発信による地域活性に寄与した。またページ数を増やし、より多くの企画に取り組んだことにより、地域の魅力を多岐にわたり発信することが出来た。掲載内容も内外から好評であったので「A」と評価する。
課題と改善策	より市民に身近な地域情報誌を目指すため、新たな配架場所や地域の協力者を獲得し、更なる地域活性を目指す。
収 支	会費収入の一部を充当
実施の様子	  

### 1) 地域情報誌「さがまち」24 号の概要

発行数	1 万 6 千部
配架場所	相模原市・町田市内のまちづくりセンターや図書館などの公共施設、銀行、総合病院、高校、大規模商業施設など約 500 箇所
概要	B5 版サイズ・24 ページ・両面カラー
記事タイトル	統一テーマ～平成最後のさがまち～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前から消える相原高校</li> <li>・ 時代と街と音楽</li> <li>・ 町田ノイズの今までとこれから</li> <li>・ 10 年以上捨てられないもの</li> <li>・ 町と共に、一歩ずつ</li> <li>・ アーティスト 大小島真木</li> <li>・ Machida`s Mode</li> <li>・ さがまち御朱印巡り</li> <li>・ 気になる Sagamachi</li> </ul>

## ウ 地域情報発信

ポータルサイト「さがまち」による情報発信事業。

実 績	
期 間	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
HP アクセス数	47,200 件
更 新 数	82 件
内 容	ポータルサイト「さがまち」の運営を通して地域情報の発信をした。
自 己 評 価	公益目的事業に関わる情報発信に注力し、市民の生活に密着した情報を発信した。しかし、アクセス数及びサイト内更新数が目標を下回ったので「C」と評価する。
課題と改善策	SNS の連動など時代のニーズ、シーズに沿った情報発信を心掛ける。
収 支	会費収入及び相模原市補助金の一部を充当
	 

## エ センター市民・大学協働フェスタ

地域・市民団体と大学が協働したまちづくりイベントを開催。

実 績	
開 催 日	1) 平成 30 年 10 月 14 日 2) 平成 31 年 3 月 2 日
参 加 者 数	1) 参加団体数：45 団体、来場者数：約 2,000 人 2) 参加団体数：21 団体、参加者数：31 人
内 容	1) 自治会・商店街・公民館の地域活動、市民団体・NPO の市民活動、大学の生涯学習講座や研究成果、学生の地域連携活動、企業の地域貢献活動の取組を展示する。 2) 地域・市民活動を実践する団体・個人を対象に、成功事例や課題、経験者にしかわからない隠れた問題などを紹介し、その解決方法を参加者が共有する。
自 己 評 価	1) 協働事業成果発表、出展者同士のつながりを重視した事業担当者による出展者双方の顔合わせ、終了後の懇親会を行った。市民と大学との交流がされ、地域の活性化に繋がった。 2) 交通安全（特に自転車事故防止）について関係者を招集してサミットを開催した。情報共有と啓発に向けてユニコムプラザさがみはらからの提案を行った。 以上を踏まえて「A」と評価する。
課題と改善策	1)、2) 共に来年度の開催に向けて日頃の活動を活発に行う。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	



オ センター・市民・大学交流会

実績	
開催期間	平成30年5月～平成31年3月
開催数	6回
参加者数	87人
内容	個人・団体が大学と交流する場の提供。「地域連携の考え方」、「大学の得意分野」「協力を要請したい分野」などの具体的なテーマを設定し、市民と大学との連携のきっかけを創出する。
自己評価	具体的テーマに基づく6回の市民・大学交流会を開催し、活発な意見交換を行ったが、参加者数が目標値を下回ったので「B」と評価する。
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流会終了後、連携の有無と内容について追跡調査を行っており、連携に繋がる案件が出てきた。引き続きフォローしていく。</li> <li>より幅広い世代に参加していただけるよう、日時を工夫している。</li> </ul>
収支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	 

	開催日	テーマ	参加者数
1	5月23日(水)	～運動と健康管理 ー心の面からのアプローチー	22人
2	7月30日(月)	～現代の子育てにおいて大切にしたいこと～	8人
3	9月26日(水)	健康って何だろう？ ～生きる居場所づくりから「健康」のカタチを考える～	13人
4	11月28日(水)	作品鑑賞：見ること・発見すること	7人
5	1月23日(水)	考えよう人の暮らしとエコ・未来	19人
6	3月27日(水)	絵画は国境を越えて	18人

カ センター・市民と大学との橋渡し

実績	
期間	平成30年4月～平成31年3月
内容	①シェアードオフィス利用者への支援 利用者交流会：12回開催 ②センター利用者への支援 相談件数：132件 ③市民と大学との連携実績26件

自己評価	①利用者交流会を通じて活動状況の把握とアドバイスができた。 ②受身型の相談から提案型の相談が増え、かつ、件数が増加している。 ③年間を通して多種多様な橋渡しを実現し、その後もフォローしている。 以上を踏まえて「S」と評価する。
課題と改善策	テーマを決め、より実践的な自主事業を行うことでアドバイス、提案、橋渡しを継続的に実現する。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当
実施の様子	相模女子大学との連携 子ども食堂  みんなの居場所サロン 

#### キ センター・情報誌発行

センター事業やセンターに係わる様々な団体の取り組みや連携に関する情報を紹介する情報誌を定期的に発行。

実 績	
期 間	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
発 行 回 数	12 回/年間
発 行 部 数	3,000 部
内 容	A4 版 2 ページ、カラー、相模原市内の 217 か所に配布 センター事業の紹介、大学の活動紹介、シェアードオフィス利用者の活動紹介など、様々な取り組みや市民と大学との連携に関する有効な情報を紹介した。
自己評価	施設の設置主旨に鑑み、「市民と大学との連携」「施設でのイベント」について、タイムリーに情報発信できたので「A」と評価する。
課題と改善策	企業の地域連携活動としてのイベントにも注目していく。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

#### ク センター・団体登録

実 績	
期 間	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
登録団体数	30 団体
内 容	定期的にセンターを利用する団体・フェスタへの出展者に対し登録を促す。 橋渡し案件として関わった団体に登録を促す。
自己評価	登録数は、昨年度 24 団体から 30 団体に増加したので「A」と評価する。
課題と改善策	次年度もフェスタへの出展者に対して登録を促すなど、増加に努める。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

#### ケ センター・ホームページ運営

市民や大学、企業・団体が行う多彩な活動を紹介する。センター事業をはじめ、センターと

団体との共同事業、利用団体（利用者）が行う事業、その他の地域情報を幅広く紹介する。

実 績	
期 間	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
HP アクセス数	305,886 件
更 新	毎日
内 容	センターで開催される多彩な活動について、予告を中心に紹介。また、施設案内、利用案内、施設予約状況は毎日最新情報を発信。 「市民と大学との連携」は特設ページを開設し、PRと事例を紹介。そのほか、「最新ニュース」、「おすすめイベント情報」を掲載し、発信。センターでの活動状況や各大学の連携状況をリアルに紹介するためのフェイスブックの運営と、学生に向けた情報発信のツールとしてツイッターを運営。
自 己 評 価	年間を通して問題なく運用できたので「A」と評価する。
課題と改善策	スマートフォン対応など、ホームページのリニューアルを検討している。
収 支	指定管理者事業収益の一部を充当

---

## 4 収益事業

---

センターの施設等の管理運営事業（公益目的事業の推進に寄与する事業）

一般市民などがセンターの施設等を利用するに当たり、相模原市条例に定める適正な料金のもとにサービスを提供し、利用者の便宜を図ることに努めた。

- (1) シェアードオフィス運営支援（NPO や企業などが市民活動、地域貢献活動の拠点として利用するシェアードオフィス（共用貸事務所）の利用者有料支援）
- (2) 会議室等の貸し出し（セミナールーム、ミーティングルーム、AV スタジオ、実習室、情報コーナー、マルチスペースの有料貸し出し）
- (3) 備品等の貸し出し（機械、映像機材、各種ソフト、備品の有料貸し出し）
- (4) 利用者サービス（コピーサービス（有料）、無線 LAN（Wifi-Spot）（無料））

## 5 管理運営

### (1) 総会・理事会

#### ア 社員総会

	開催日	開催場所	内容
定時 社員総会	平成30年 6月19日	ユニコムプラザ さがみはら セミナールーム2	<審議事項> (1) 理事の選任について (2) 監事の選任について (3) 名誉会員の推薦について (4) 平成29年度収支決算(案)について <報告事項> ・ 会員の入会について ・ 会員の退会について ・ 平成29年度事業報告について ・ 平成30年度事業計画について ・ 平成30年度収支予算について ・ 諸規程の制定・改定について ・ 平成30年度事業・組織体系について ・ 本店の公益目的事業の実施状況について ・ ユニコムプラザさがみはらの運営状況について
みなし 決議	平成31年 1月11日 (社員総会 の決議があ ったものと みなされた 日)		<みなし決議の事項> (1) 監事の選任の件

#### イ 理事会

	開催日	開催場所	内容
第52回 理事会 (臨時)	平成30年 4月24日	相模女子大学 会議室5	<審議事項> (1) 名誉会員の推薦について (2) 委員会委員等の推薦について (3) 広報及びメディアの活用方法について <報告事項> ・ 事務局体制について
第53回 理事会 (定例)	平成30年 6月4日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1) 会員の新規入会について (2) 補充の理事候補者について (3) 役員候補者について (4) 第五期委員会委員候補者について (5) 平成29年度事業報告(案)について (6) 平成29年度収支決算(案)について (7) 社員総会の議案について <報告事項> ・ 各委員会開催結果について ・ 予算の進捗状況について
第54回 理事会 (臨時)	平成30年 6月19日	ユニコムプラザ さがみはら ミーティングル ーム5	<審議事項> (1) 人事について (2) 定時社員総会の議案及び議事進行について
第55回	平成30年	ユニコムプラザ	<審議事項>

理事会 (臨時)	6月19日	さがみはら ミーティングル ーム5	(1)会長(代表理事)、副会長、業務執行理事の選定 について
第56回 理事会 (臨時)	平成30年 7月27日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1)相模原市立市民・大学交流センター指定管理者 の指定の申請について
第57回 理事会 (臨時)	平成30年 9月11日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1)法人運営の方針について <報告事項> ・各委員会開催結果について ・予算の進捗状況について ・業務執行状況について ・相模原市立市民・大学交流センターの第3期指定 管理者指定申請について ・相模原市立市民・大学交流センターの管理運営に 関するモニタリング結果について
第58回 理事会 (臨時)	平成30年 12月11日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1)補充の監事候補者について (2)理事の辞任に関わる対応について (3)賛助会員の新規入会について (4)名誉会員候補者の推薦について (5)人事について <報告事項> ・各委員会開催結果について ・予算の進捗状況について ・法人運営の方針に係るワーキンググループミー ティング中間報告について ・内閣府立入検査受検について ・相模原市立市民・大学交流センターの第3期指定 管理者の指定について
第59回 理事会 (定例)	平成31年 3月12日	相模女子大学 会議室2	<審議事項> (1)人事について (2)職員の給与規定について (3)2019(平成31)年度事業・組織体系(案) について (4)2019(平成31)年度事業計画書(案)につ いて (5)2019(平成31)年度収支予算(案)につい て <報告事項> ・退会について ・予算の進捗状況について ・業務執行状況について ・内閣府立入検査受検結果報告について ・相模原市立市民・大学交流センターの第3期指定 管理者の指定について ・平成31年度社員総会・理事会・運営委員会の開 催日程について

(2) 委員会

ア 運営委員会

	開催日	開催場所	内容
第1回	平成30年 5月8日	ユニコムプラ ザさがみはら セミナールー ム2	<報告事項> ・平成30年度事業計画について ・平成30年度収支予算について ・法人の運営状況について ・業務執行状況について
第2回	平成30年 10月9日	ユニコムプラ ザさがみはら セミナールー ム2	<報告事項> ・人事について ・法人の運営状況について ・業務執行状況について ・相模原市立市民・大学交流センターの第3期指定 管理者指定申請について ・相模原市立市民・大学交流センターの管理運営に 関するモニタリング結果について
第3回	平成31年 2月26日	ユニコムプラ ザさがみはら セミナールー ム2	<報告事項> ・賛助会員の新規入会について ・法人の運営状況について ・業務執行状況について ・相模原市立市民・大学交流センターの第3期指定 管理者の指定について

イ プロジェクト事業委員会

①さがまちカレッジプロジェクト

	開催日	開催場所	内容
第1回	平成30年 4月18日	相模女子大学 茜館催事場	・平成30年度さがまちカレッジⅡ期講座につい て ・町田の魅力を再発見！ツーリズムプランコン テストについて
第2回	平成30年 7月19日	相模女子大学 茜館催事場	・チームリーダーの選任について ・さがまちカレッジについて ・平成30年度さがまちカレッジⅢ期講座について
第3回	平成30年 10月4日	相模女子大学 マーガレット 本館2125教室	・平成30年度さがまちカレッジⅣ期講座について ・平成31年度さがまちカレッジについて
第4回	平成31年 2月5日	相模女子大学 夢をかなえる センター English room	・平成31年度さがまちカレッジ企画提案について ・平成31年度さがまちカレッジⅠ期講座について

②キャリア支援プロジェクト

	開催日	開催場所	内容
第1回	平成30年 5月22日	相模女子大学 会議室4	・平成29年度実施報告 ・キャリア支援プロジェクト今後の展望について ・キャリア支援4STEP PROGRAM2018について
第2回	平成30年 7月4日	相模女子大学 茜館催事場	・今年度のキャリア支援プログラムについて
第3回	平成30年 9月11日	ユニコムプラ ザさがみはら マルチスペース	・今年度のキャリア支援プログラムについて ・さがまち最終就活特訓セミナーについて ・しごと探求セミナーについて

## 附属明細書

事業における重要な事項は平成30年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特にないため、当年度の附属明細書は作成しない。